



# 枚方の未来のために

## 議会報告書

### 議会報告① 避難所運営の充実・強化について

**Q** 枚方市内の避難所開設・運営訓練に参加し、市は避難所での感染症予防や環境改善のためにパーティションや簡易ベットの購入を進めるという説明がありました。

訓練に参加する中で、実際の災害対応のイメージが膨らみ、避難所の充実や強化が重要であると考えますが、実際に避難所となる体育館等のスペースやレイアウト、収容可能人数など施設ごとのシュミレーションはどのように行われていますか。

また、収容可能人数に対して避難者数が溢れた場合や車椅子利用者、体調不良者がいた場合などの対応策についてどのような具体策を立てているのかお伺いします。

**A** 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営のための「避難所運営マニュアル（感染症対策編）」を作成し検討したところ、一般的な小学校の体育館では30～35台程度のパーティション設置ができると考えております。今後は現場での検証を行ってまいります。また、スペースの確保を目的とした2次避難所の開設判断に先立ち、避難者の少ない1次避難所の活用やその次の段階として現在の災害対策の見直しなど、これから具体化する必要があります。配慮が必要な方に対する対応策と施設ごとに合わせたゾーニング等はこれから各関連の皆様と研究していきます。

### 岡市の要望・意見



災害はいつ起こるかわかりませんので、実際に利用する地域住民の声やアイデア、地域ごとの利用人数、施設ごとの課題や現場検証でしかわからない問題を素早く明確にし、早期実践できる体勢を整えてもらいたいと強く要望します。また、感染症に対応した避難所のレイアウトでは収容可能な人数は少なくなります。現在の避難所だけではなく、自治会館や学校、民間施設などの活用も視野に入れ、解決策を検討していただくよう要望いたします。

### 議会報告② 持続可能なまちづくりについて

**Q** 新型コロナウイルス感染症への対応として、3密対策や新しい生活様式への取り組みなど、新たな対策が必要不可欠です。枚方市でもコロナ前に策定された経営サイクルの再構築が行われますが、システムの再構築がどのように行われるのかスケジュールや財源活用の方法などをお伺いします。

また、補助金が交付されている活動の中で効果や目的がはっきりしないものもあるように感じています。今後どう事業を見直していくのかの見解をお伺いします。

**A** 第5次枚方市総合計画の進行管理においては、実行計画レベルでの評価を中心に取り組みを進めていましたが、事務事業実績測定をもとに、ロジックモデルの導入やKPIの設定など取り組みを進めています。今後は施策や事務事業の見える化を進め、事業の企画立案から検証、評価、見直しまでのサイクルを確立し、効果の低い事業については見直しや廃止を行うなど効果的な運営に努めてまいります。

### 岡市の要望・意見



枚方市では実に1000もの事務事業が実施されています。持続可能で選ばれるまちづくりを実現するために、必要なもの、不必要なものを見極める「選択と集中」の視点はこれまで以上にとても大切だと考えています。新時代に合わせながら効果的な事務事業の実施、財源の活用に向けて取り組みをしっかりと進めていただくよう要望いたします。

### 岡市えいじろう

生年月日：昭和48年12月9日 / 出身地：枚方市茄子作生まれ

略歴：茄子作保育所→枚方市立春日小学校→枚方市立東香里中学校→私立啓光学園高等学校（現常翔啓光学園高等学校） / 職歴：会社員→岡市商事設立（代表）

地域活動：春日小学校PTA会長（平成25年・26年） / 春日小学校50周年実行委員長（平成27年） / 東香里中学校PTA会長（平成30年）

春日小学校夏祭り実行委員会会長 / 枚方ライオンズクラブ / 北大阪商工会議所青年部 / 枚方市商業連盟青年部

好きな言葉：一期一会 / 趣味：写真撮影、神社仏閣巡り、フットサル、バトミントン、バスケットボール